

所在地：	神奈川県横浜市都筑区佐江戸600番地		
敷地面積：	122347m ²	延床面積：	7685m ²
設立：	2010年10月	従業員数：	384名
ISO14001取得：	1977年12月	ISO14001最新更新：	2010年1月
主要製品：	超音波本体、超音波プローブ、補聴器、レーザX線、超音波オプション		
環境コミュニケーション：	10年度		
情報開示：	1件	工場見学：	0名
問合せ：	画像診断ビジネスユニット 製造グループ 生産革新チーム		TEL： 045-939-1006



地域貢献活動： 7件

ごあいさつ

パナソニック ヘルスケア株式会社 横浜地区には、超音波診断装置、レーザX線装置を担当する画像診断BUと補聴器を担当する補聴器BUから成り、研究・開発、販売および製造、管理部門などで構成されています。
横浜地区としてコントロールする海外拠点はありません。

環境活動を推進するパナソニックグループ・横浜地区には、パナソニックの社内分社であるパナソニックモバイルコミュニケーション(株)、パナソニック(株)オートモーティブシステム社およびパナソニックシステムネットワークス(株)などが混在しており、協働して環境活動に取り組んでいます。
環境取組みはグリーンプロダクツ活動、クリーンファクトリー活動そして社会貢献活動などです。



環境責任者

朝山 啓二郎

2010年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
省エネCO2削減の取組み 電力使用量914kwh以下(CO2換算375トン)	計画達成：電力使用量実績 908kwh (CO2換算373トン) 取組み：高効率設備への更新(恒温槽)
省資源の取組み 計量物排出量の削減 前年比△3% 46.7トン以下 リサイクル率 99.5%以上	計画達成：総排出量実績 38.2トン リサイクル率 99.7% 主な取組み：製品の小型化による廃棄包装材の削減
GP2010に基づいた商品開発	狙いと取組み：製品環境アセスメントマニュアルVer6運用、含有化学物質管理(新GP-Web運用) にて環境負荷削減と設備稼働時間短縮の推進

製品・環境配慮ポイントの紹介

■超音波診断装置

動脈硬化を診断できる超音波診断装置を販売

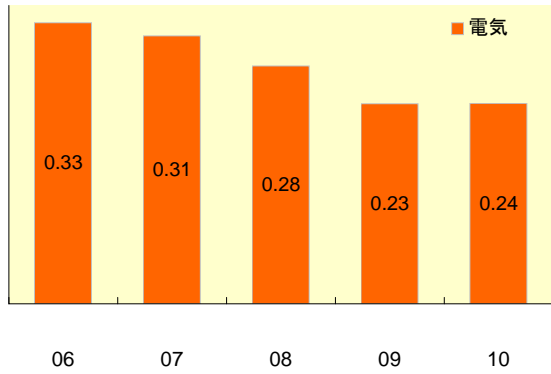


■製品の環境配慮ポイント

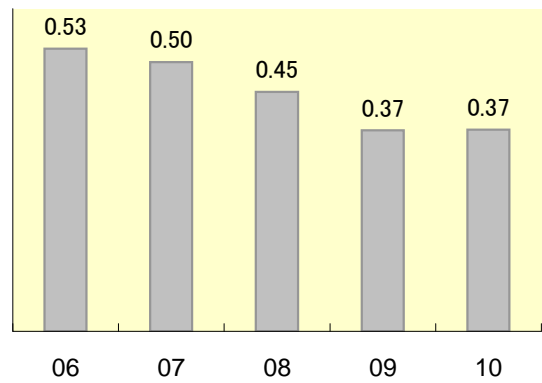
従来のカート型装置に比べ消費電力を80%削減

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 010:20010年4月1日~2011年3月31日

エネルギー使用量 単位:千kl



CO2排出量 単位:千t



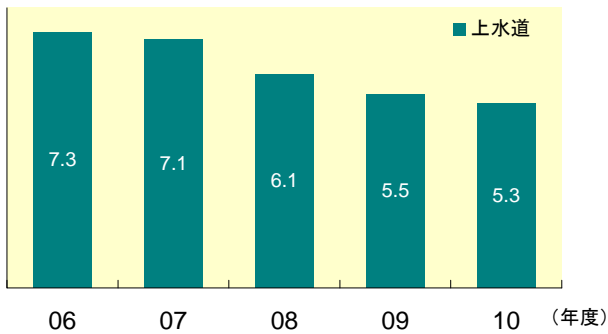
自然エネルギー使用量 10年度 (年度)

0.00 千kW/h

算出基準について

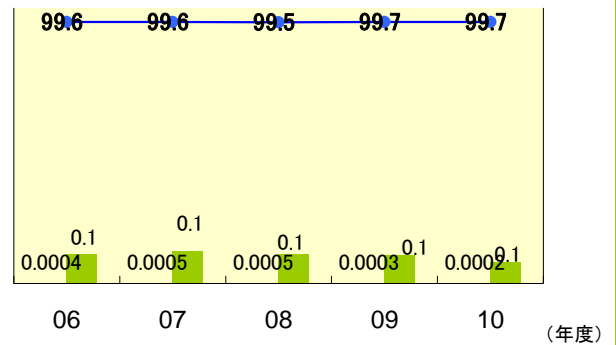
各年度の購入電力係数(kgCO2/kWh)は、0.425(2006年)、2007年度以降は0.410を固定して使用しています。

水の使用量 単位:千m³



産業廃棄物・有価発生物 単位:千t、%

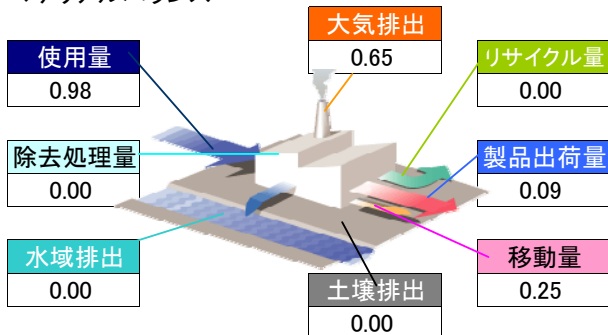
■ 最終処分量 ■ 発生量 ● リサイクル率



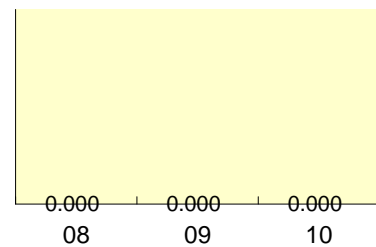
化学物質

マテリアルバランス

10年度



重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項

パナソニックグループの工場化学物質管理について

http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/

環境法令等の順法状況 10年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm ³ /h	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
NOx	ppm	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
ばいじん	g/Nm ³	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
BOD	mg/l	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
窒素	mg/l	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
リン	mg/l	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
		夜	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
振動	dB	昼	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
		夜	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A

法令規制値: 法または条例および協定の規制する値

N/A: 法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

特に報告すべき事項はございません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
特に報告すべき事項はございません。	

環境方針

パナソニック 横浜地区 環境方針

当地区は、重点事業である移動体通信事業、カーマルチメディア事業、半導体事業、システムソリューション事業、ヘルスケア事業などの幅広い商品を開発、設計、生産、販売し、関連のサービス事業を展開している。

1997年12月に環境ISO認証を取得して以来、活動を継続的改善し、汚染を予防している。

そして、以下の活動を通じて、エレクトロニクス No. 1の『環境革新企業』を目指して、社会的責任を遂行する。

1. 事業活動が環境に与える影響を適切に評価し、次の重点課題の改善取組みにより環境負荷の低減に努める。

(1) 環境負荷を極小化した商品の創出に積極的に取り組む。特に消費電力削減、化学物質管理・削減、リサイクル性の向上などに取り組む。

(2) 地球温暖化防止ならびに資源を有効利用するため、工場・事務所のエネルギーを効率的に活用し、CO2排出量を抑制する。

(3) 資源の有効活用を図るため、ゼロエミッション活動を継続する。

2. 環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び同意するその他の要求事項を順守する。

3. 環境活動の推進に当たり、環境目的及び目標を設定し、計画的に実施すると共に定期的に見直しを行う。

4. 環境教育、社内広報活動等により全従業員の環境保全への理解と意識の共有化を図る。

5. 本方針は、全従業員、構内常駐業者及びお取引先へも周知し、理解と協力を要請する。

6. 本方針は、ホームページ等で一般にも公開する。

2010年5月13日

横浜地区トップマネジメント

パナソニック モバイルコミュニケーションズ(株)

環境担当取締役 北林 正行

環境負荷削減の取り組み事例



恒温槽を高効率タイプへ切替



待機電力削減の取組み

＜小さな取り組みを継続して省エネ推進＞

「きめの細かい対応策」を積み重ねて省エネを推進しています。
具体的な取り組み内容は、

- (1) エアコンのタイマー設定による稼働時間短縮と設定温度の管理
- (2) 恒温槽高効率タイプへの切替と大型設備稼働率の低減
- (3) IT部門サーバの省電力化

などです。

◇各職場で取り組んでいる具体事例は下記の通りです。

- (1) 事務所・実験室・工場の電源をこまめに消灯しています
 - ・マイスイッチ活動（離席時自分の責任でSWOFF）
 - ・PCのモニター・PHS充電器の不使用时OFF
- (2) エアコンなどの空調設備のきめ細やかな温度設定実施
 - ・クールビズ、ウォームビズを奨励
 - ・省エネ委員による職場巡視徹底（夏場28℃、冬場20℃設定）

環境コミュニケーション事例



緑化の作業風景

「共存の森」緑化活動 6月11日（金）、10月17日（日）

- ① 構内緑化を通じて地域（町内会）交流と緑のある町づくりに貢献をする
- ② 従業員の地球環境保全意識の昂揚・啓発を図る
- ③ 植栽の二酸化炭素吸収によるCO2の削減



水取沢市民の森保全活動
伐採作業風景

「市民の森」保全活動 6月26日（土）、11月20日（土）

- ① 横浜市「水取沢市民の森」の保全活動（伐採、草取り、観察 等）に貢献をする
- ② PGV（パナソニックボランティア倶楽部）の協働作業活動に参画
- ③ 森の保全活動によるCO2の削減

緊急事態への準備と対応

考え方と訓練計画

危険物や廃酸などが万一流出するなど漏洩発生を想定した応急処置方法の実技訓練を、定期的に計画し実施しています。（一回／年 実施）

訓練の内容は、消火器の確認、オイル吸収マット（オイルフェンス）の設置、土嚢の設置などです。



消火器の確認



オイルフェンスおよび土嚢の設置